

森林環境譲与税を活用した取組



林業労働力確保育成支援事業

目的

林業の活性化を図るため、林業経営体が実施する雇用及び林業への理解を深めることを目的とした実習生等の受入れ、雇用している林業従事者の育成、林業就業者の安全衛生面への環境整備に向けた取組について支援する。

【事業内容及び実績】

事業区分		補助対象経費	補助額	事業実績	補助額
雇用促進	実習生指導費	実習生の指導に要する経費	実習生1人当たり5,000円/日	7名、延べ53日	361千円
	交通費	実習生受入時に必要な交通費	自家用車の場合は29円/km、公共交通機関の場合は全額	7名、延べ2,235km	
	就職説明会参加日当	林業就職説明会への参加日当	参加者1人当たり3,500円/日	7名、延べ9日	
林業従事者育成	基本研修 (1年目)	雇用から3年目までの林業従事者を対象に、林業経営体が行うOJTを通じた研修に要する経費	研修生1人当たり4,000円/日 (年間180日上限)	2名、延べ360日	5,511千円
	技術高度化研修 (2年目)		研修生1人当たり3,000円/日 (年間180日上限)	6名、延べ779日	
	技術高度化研修 (3年目)		研修生1人当たり2,000円/日 (年間180日上限)	5名、延べ867日	
安全衛生対策	安全防具購入・蜂刺され対策	労働災害の防止に向けた安全防具・蜂刺され対策用品の購入費用及び安全衛生講習や林業の専門的な講習等の受講料	購入費用の2分の1 (補助上限額 林業経営体：30万円 その他：3万円)	防護着、安全靴、保護具等 自動注射器導入費用 毒液吸出し救急用具 忌避剤、殺虫剤	852千円
合計					6,724千円

実習生指導の様子



林業従事者育成研修の様子



安全防具の導入



※安全衛生対策（安全衛生講習等受講）の事業実績欄にある「伐木」及び「架線」とは、「チェーンソー作業講習」及び「林業架線作業主任者及び集材機運転者特別教育」（いずれも再教育を含む）のこと。